

# ファッショングループの未来

宮崎辰雄  
木口専一郎  
松谷富士男

〈神戸市長〉  
〈神戸新聞主筆〉  
〈株式会社長〉  
〈神戸ペニヤ社長〉

坂野惇子  
森本泰好

〈株ファミリア専務取締役〉  
〈神戸地下街株式会社常務取締役〉  
〈河野護謨工業株式会社社長〉



宮崎神戸市長

—神戸市が本格的にファッショングループ構想にとりくみはじめてから三年目を迎えようとしております。

ファッショングループ市民大学、ファッショングループエア、ファッショングループバザールなど多彩な行事や催しも行なわれ、K F A、K F C、K F Sなどの組織もできていくよ本格的にファッショングループづくりが進められようとしております。今日は今までの経過を振り返り、これからのファ

★実績の積み重ねがファッショングループへの第一歩  
市長 卒直に申しまして、神戸の将来の産業をファッショングループとして育てていくための決め手のようなものがなかなかないので、やはりひとつひとつ積み上げていくより他に方法がないんじやないかと私は思うんです。今までやつてきたものはそれなりに成果を上げていると思いますが、それで神戸がすぐに全日本の、あるいは国際的なファッショングループになりうるかといいますと私はそう簡単にはいかないと思いますね。ですから各自の立場で最善をつくしていくことが大切です。

行政の立場としては、神戸の街をどうしようかという「人間都市神戸の基本構想」の中にもこのファッショングループ構想は入っております。その中に「市民生活に直結する産業の発展をはかる」という題で、「神戸の雰囲気を生かした服飾、工芸などを市民の日常生活のすみずみまでいろいろ新しいファッショングループ産業を育て、それを支える研究・教育機関を設け、企画・生産・流通・商品の



木口衛さん



畠専一郎さん

流れを総合的にとらえたファッショング都市をつくる」ということを明確に打ち出し、それにもとづいて市でもいろいろな施策を行政の面からもやっていると考えています。今まで、ファッショング市民大学、ファッショングフェア、ファッショングコンテスト、また東遊園地で行なわれたファッショングバザールなど、みなさんが積み重ねておられるものがたくさんあり、その中には若干の批判もあります。

ファッショング産業というものは、「創造」が一番大きな要素ですから人材の養成ということでファッショング市民大学をやりましたが、これも常設ファッショング大学のようなものにまでもっていくとなると非常に難しいでしょう。さらにファッショング街区を造ろう、とみなさんご努力されておりますが、これも現実にはファッショング街区の土地は公有財産ですから、そういうものを底地として建設するとなると非常に難しい面がありますので、今は第一歩を踏み出したところで、私はこれからじやないかと思いますね。行政面でもこれからもできるだけの努力をいたしますので、みなさんも新しいファッショング都市づくりにご協力ををお願い致します。

畠ボクはファッショング市民大学の運営委員の一人としてお世話をさせていただいていますが、いちばん心強く思っているのは、第一期卒業の方がKFS（コウベ・ファッショング・ソサエティ）を結成して活動を始められたことです。待望久しかったファッショング都市化の強力な市民団体が市民活動を開始したわけで、市民運動史の先駆例になると思います。

フランスでは輸出の五五%までがファッショング商品です。日本もはやくアタマで勝負をする産業の比率をそこまで高めたい。それ以外に日本の活路はないと思いますが、そこへ向う過程としての意味を持つていて、すでに二回開いたファッショング・ショウであり、バザールです。バザールではじめて「取引き」という要素がいつてきましたが、はやく外国のバイヤーがバザールにやつてくるようにしたいのですね。

神戸ファッショング都市化の声は、東京や京都、大阪などその他地区にかえつて大きい反響を呼んでいます。京都はワコールの塚本さんが商工会議所の副会頭として、さ

りますが、こういうものにはひとつ定形というものがないので、だから試行錯誤をくり返していくもいつこうに構わないじやないかと思います。ただこれからの展開が難しいでしょうね。



松谷富士男さん

つそくファッショング特別委員会をつくり、米国の歴代大統領夫人衣裳展を近代美術館に誘致するなど二年さきの企画まで進めてるし、大阪は箕面のテキスタイルセンターに九十億円で三十階以上のトータルファッショングビルを建てる計画を進めています。このままではあとの方々が先になりそうですね。関係者はもうちょっとシッカリしていただきたいと思います。

木口 KFC（コウベ・ファッショング・シティ）も今事務局員が三名おり、土地取得のために相当額積みたてるんです。協同組合のことがあるので、パッキングの共同購入とかいろいろなことをやってできるだけ負担を小さくして効果があがるように一生懸命やっています。

昨年の10月に行なわれたファッショングバザールは非常にいい企画でしたね。第一回めの催しとしては少なくとも20万人を超える参加者があり、東遊園地一体が非常に成功だったといえましょう。このファッショングバザールは他のプロジェクトと全く性格を異にして、何といつても"ひらかれた場"であるといえます。したがって参加人員も圧倒的に多く、それだけに市民全般にひろくファッショングというものを印象づけることができたと思えます。

森本 ファッショング都市化の運動が具具体化してまる二年ですが、この二年という短期間からみればこの運動の影響力は大きかったんじゃないかと思います。むしろ神戸以外での影響が大きく、行政がこういうところに手をつけたというのがある意味でもショックだったところもあるようで、来年は札幌や福岡でも市の方でこの問題に取り組んでみたいような意向がでているようです。ただ市長がおっしゃったようにこれからが難しいと思います。

一つの問題点は、今までの市なり私達が動いてきたのはなんか主観的な立場で神戸の風土なり歴史がファッショング産業にむいているんではないか、ということからスタートしてきているわけですが、客観的な条件をもう一度見なおして、神戸をファッショング都市にしていくと、神戸のもつてている得手と不得手をはっきりさせて、足らないものをどうしていくか、あるいは同じファッショング都市にするにしてもどういうタイプのファッショング都市にしていくか。その方向づけなどが出てくるんじやないかと思います。

ファッショング産業というのは私は非常に地域密着型の産業だと思うんですよ。最近、政治、経済、文化などあらゆる分野で地域からの発言というの非常に強くなってきたるわけですね。私は新地方主義といつてるんですが、そういうところからみてもファッショングビジネスとかファッショング都市化は大きな時代に沿った風潮があるんじゃないでしょうか。そういう地域密着型の産業ですから何もファッショング業界の方だけの問題でなく、神戸の全産業の問題だと思いますので、そのへんのところを神戸の財界の方にもぜひ理解していただき、市民の合意のもとに神戸がファッショング都市宣言をできればと思うんですが。

坂野 ファッショングをただ衣類だけのものでなしに、市の美化的なファッショングというものも考えて、もう少し



坂野 恭子さん

河野 ファッションといふものはでき上ったものだけを消費者に訴えるのでは弱いと思うんですね。むしろ、モノをつくり出す工程から掘り下げていかないと本当のファッショニズムは育たないでしょ、一般的の消費者もついてこないと思います。

ヨーロッパの町を見ると、たとえばスイスなどでは自分のうちの庭でも掘り返して一週間もほつておくと罰金をとられるそうです。ドイツのある町に行つても、家の表の壁の色はクリーム色ならクリーム色で統一して塗るとか、パリの町でもネオンの色は赤にしてはいけないとかいったキマリがあるようです。ファッショニズムといふのは自由と平和の中でないと育たない、とよく言われますが、日本の自由が本当の自由かどうかですね。市行政でも町づくりをする場合何か一つのスジの通つた統一的なものがあつてもいいんじやないかという気もするんです。めいめいがてんでバラバラの建物を建てていたんでは本当の町の美化にはつながりませんので、やはり最大公約数というものをつかんで、それが五〇年、百年先までも美しい町並で残るような大きなマスター・プランが必要じゃないかな、という感じが常にします。

松谷 神戸のファッショニズム産業というのは東京にくらべ

るとかなり遅れているという気がするんですが、神戸には東京ない、神戸なりの良さがありますので、神戸らしいファッショニズムを育成し、発展させていくことが大切ですね。ですから神戸らしいファッショニズムが生まれる環境づくりを市の行政面からも考えなおしていかないといけないでしょうね。たとえば商店の看板にはかならず英文も入れなければならぬといつた示唆を与えて、インター・ナショナル的な雰囲気のある神戸にするのも一つの方法じゃないかと思います。それと消費者との窓口は小売店ですし、小売店はファッショニズム性も強くして神戸の一つの魅力にもなっていますので、小売店の助成などもお願いしたいものです。

小売店の場合は昨年の10月から坂野通夫さんが委員長で神戸の婦人子供服組合というのができましたので、今年からはまとまつた活動ができると思います。

### ★急がれる知識集約型産業への移行

市長 ファッショニズム産業を進めていくためにはファッショニズム文化といつたものが底辺になければ育たないと思うんですが、それには行政の主導性も大切ですが、やはり神戸市民の習慣とか風土、規律のようなものが育つていかないといけませんね。それから神戸のファッショニズムを考える場合、服飾関係、靴、家具、洋菓子などいろいろなものが入つてゐるんですが、それぞれの間にいかに統一的な哲学をもつのか、それが私はまだわからないんですね。一つの町のイメージなどは統一したものができるにしても、ファッショニズムの個々のものに統一した哲学、あるいは個別的な哲学をどうつくりあげていくか、そういう基礎的なものをそろそろ考えていかないといけないですね。今までは花火を上げたような格好ですが、この打上げた花火をどうするかをみんなで考えて、本当に根はえたものにしていく必要があると私は思いますね。それとファッショニズム自身は行政がつくりあげるもので

なくて、市民自身や業界自身がつくるもんだという自覚をもつてもらいたいですね。行政自身がファッショングの進行をはかるんじゃなくて市民自身そういう土壤をつくり、各業界が自分の属するファッショング産業を育てていく、そういう姿でないと魅力ないです。

畠 畠の間、韓国の新聞研究所の招きで新しい新聞づくりについてゼミの講師をつとめてきたんですが、最近の韓国はどんどん日本を追っかけてきます。

蔚山の現代造船所など三百万坪近い面積で百万ドンカーラーのつくる新設備も完成が間近のようでした。おそらく世界一大きい造船所だと思います。川崎汽船が注文した二十三万ドンカーラーも出ておりました。

かと思うとお隣りの浦項では、これまた三百万坪近い製鉄所が一千億円でできました。いまの日本なら五千億円もかかります。そこで考えさせられたんですね。くしくも神戸は造船と鉄のマチで、それで今まで市民が生活してきたのですが、いつまでいまのままでおられるだらうかと。

やはり、重工業都市から知識集約産業都市への移行なり成長を考えないと、時代から取り残された神戸になるおそれがあるよう思います。



森本 泰好さん

森本 私が今一番ほしいのはサロンですね。情報というのは異質の頭脳から栄養をとつて成長していくわけですからどうしても頭脳と頭脳が触れる場がいるわけですからサロンができるいろんな業界の人、文化人がそこで触れあい、その中から神戸のファッショングというものがだんだん密度を高くしていくんではないかと思います。

松谷 サロンのようなものはぜひほしいですね。

木口 ところでポートアイランドの利用計画についてですが、あちこちから神戸にファッショングの人工島ができるそうだがわれわれも参加できるのかという問合せや申込みが非常に多いです。KFCでは今、ポートアイランドにどういう形態のものをどういうふうにつくるかというプランを作製中なのですが、ここを神戸だけでなく日本のファッショング基地にするために、神戸以外の日本の優秀企業も入れてもいいということであれば他都市の企業も誘致したいと思うんですがこの点はいかがでしょうか。

市長 神戸以外の企業を入れてもいいと私は思います。

ただそれだけの力と神戸の将来にふさわしい業績をもつものでないといけませんがね。

私達がいつも仕事をする場合に、物事をなかなか具体的にできないのは、たとえば、こういう計画をしていてファッショング街区に五万坪いるといわれても、それが現実には一万坪でよかつたとか、二万坪でよかつたとかいうこともあると計画がくずれてしまうんですね。ですからいつも流動性のある考え方をとらざるをえない立場にあるんです。だからむしろこれだけのものがどうしても要るんだということを決めてもらえばそれに合わせるような方向へいけると思うんです。はじめからおよそ五万坪とか三万坪とかいわれてもそれだけの実証がないですからね。実証がないとそのまま受け入れるわけにはいかないので、私達はみなさんの考え方を参考にしながら市



河野 忠博さん

手にやれば元町から三宮まで路上のそういう雰囲気はつくらうと思えばつくれますから、これができるなら梅田に負けないと私は思いますね。

河野 私は長田地区で仕事をやっててよく感じるんですが、ファッショントリウムというものが一般的な市民からはかけ離れたもののように考えられるがちなんですね。実際に身体を張って働いている人達の努力とかモノをつくる価値を認めた上にファッショントリウムがあるという考え方方に立って進めていただからないと何かうわついたもののような感じを与えますし、神戸全体がファッショントリウム都市として成り立つていきにくいうな感じがしますね。

松谷 市民からうき上ったファッショントリウムではだめですね。市民とファッショントリウムとをいかに結びつけるかということですね。あらゆる業界がファッショントリウムの方を向いていくムードをつくらないといけません。

木口 いろんな業界の方が声をあげてほしいですね。市長 市としては今まで進めてきました施策はこれからもつづけていくつもりです。

ファッショントリウム調査もとりかかっていますのでそういうものからファッショントリウムの哲学づくり、方向、施策などを確立し、新しいいろんな試みをやってさらにその時点から前進していくことを考えたいと思います。これにつきましては、みなさんからできるだけ知恵を出していただいて、それを市が助長していくような姿をとりたいと考えています。

市民のみなさんの神戸を愛する気持というものが神戸らしいファッショントリウムを育てる基礎だと思いませんので、みなさんにひとつよろしくお願ひいたします。

△オリエンタルホテルにて

か。

森本 神戸と大阪を比較した場合、神戸のもつてゐる一番いい点は一軒一軒のお店の問題じゃなしに町全体の雰囲気なんですね。これは梅田にはないわけです。神戸は上

おめでとう赤ちゃん



渋谷絵美ちゃん／芦屋市朝日ヶ丘町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

## 芦屋柿沼産婦人科



芦屋市大木町1番18号  
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)  
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

# 幼児歯科 小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

## 母親教室

(初診日)

火曜日 午前10時

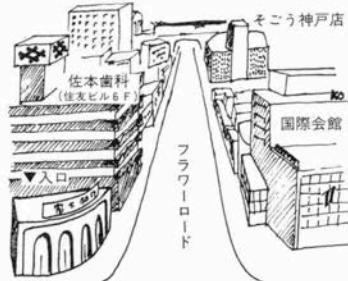
金曜日 午後2時

(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口  
住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302~3



● 福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！

# 世界の福祉施設

欧米の心身障害者を訪ねて

橋本 明著 〈カラー8ページ、本文320ページ、定価 1000円〉  
送料 200円



## 主な内容

各書店で好評発売中！

振替口座

神戸四五九六

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニック
- グッドウイル・インダストリーズ
- 里親発見活動
- フォースターグランドペアレント
- ファーストアベニュー・サービスセンター
- レニア・スクール
- ボランティア・ビューロー
- 病院におけるボランティア活動
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- パーキンス盲学校
- ボーイズ・タウン
- アビリティーズ
- スポック博士の子供博物館
- ロンドンのバーナードホーム
- 奇蹟の町・ルルドを訪ねて
- コベンハーゲンの老人の町
- ベーテル——西ドイツの障害者の町（ドイツ）
- ベット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー（オランダ）
- ヘット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー（オランダ）

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市生田区東町113の1 大神ビル8F TEL(331)2246

# 神戸へやってきた ドロテビス



オールスタイルで。左から2人目が岡原嘉代子さん、ムッシュ・ジャコブソン、浜井さん、山中専務



「神戸っ子」を見る  
ムッシュ・ジャコブソン

ニッポンのブティックは  
シーズンカラーが  
ありませんね！

日本人のデザイナーの、高田賢三や三宅一生もとてもよくやっている。でもまだ日本人は色のコントラストでみせようとする。日本の色の伝統があると思うのだがそれがまだ使いたいきれいがないんじゃないかな。パリのデザイナーは、色に対する深さ、ハーモニーの美しさを追っている。

「ドロテビス」も、色のバリエーションの美しさを見てほしい。いいものをいい人に。ソフィティケイトされたニットを楽しんで下さい。今度は、原宿や六本木のブティックを歩いたのだけれど△シーズンカラー▽が日本のブティックにはない。色目があれもこれも充分すぎますね。」とチョッピリ批評して立ち去った。

この10年間で、ファッションはとても変りましたよ。前は、モデル（パターン）、素材、カラーという時代だったが、今は、カラー、素材、パターンだと思う。ここ3年は特に女性らしい、上品な、シンプルな傾向になっていますね。

「ドイツ、アメリカから東京につくと、非常に東京がファッショナブルになっていましたね。全然差がなくて、アメリカのマスファッションにくらべたらずつといい。

「ドロテビス」は、モニック風の上つ張りを軽く着たムッシュ・ジャコブソンは、オールスタイルKKの神戸本社に、ユーモラスな絵になるおじさまという出立ちで現われた。

今、パリのブティックで「ドロテビス」といえば、パリ七人衆の一派としてユニークな存在。「ドロテビス」は、ジャコブソン夫妻のブティックであり、「ドロテビス」は、そのお嬢ちゃんの名前からつけられたという。

# '75 Spring & Summer ギャツビーの女みたいに

1930年は はるか昔じゃなくなつた

■昔の女というのは、現代の彼女らを超えてもっと女っぽかったものであろうか。女らしさを連呼する今のファッションが1920年、1930年の女を模倣し、クラシカルの得たり顔の復活をみると。ハイヒール、タイトスカートから伸びた足、華奢な帽子、肩をおおうギャザー…ガルボを気取って、デートリッヒの気分で、自由な女の演出。

■ほっそりながーく、しなやかな体躯を誇らしげに、背をびんと伸ばしてスリム&ロング。あるいはビッグ&ビッグ。自然な色あいの木綿をたっぷり使ってだぶだぼの身頃、フレアの量感のなかで体を泳がせて。

■甘くやさしい、春の霞を通してみた野原の花のような…淡いすみれ色を含んだグレイ、グレッシュブルー、アイボリー、セージなどファッションカラーのグレッシュトーンとはグレイを滲びた色のこと。頼りなげなあいまいさがなんともいえず……。

■花柄プリントの花盛り、古い壁紙にあるようなタピストリー、バターンセザンヌ、モネ、マチスなど絵画の影響を受けたもの…今年のパターン。

オールスタイル「エミレーター」より  
PHOTO ドロテビス'75春夏コレクション





# 神戸百景

73

## 港からみた 神戸

米花 稔  
神戸大学教授

神戸に住み神戸を描くことに終始された川西英氏の回顧展を大谷美術館にみたあと、この「港からみた神戸」を前にいささかの感慨にふけった。この写真に二重うつしに、一〇〇余年前の背山と松並木と海辺の砂浜の間に洋風建物の点在する姿がうかぶ。

兵庫につづく寒村に、開港とともに、海外から全国各地からそして地元の人々がよりあって、ほこりっぽく汗にまみれたみなとまちが、いま眼にするよそいまで、仕事とくらしのなかでつくりあげたこの一世紀を想い、そしてこれからの中代の人々の営みのなかで、どのように推移するのであろうかと、思いをはせるのである。

カメラ  
小山 保

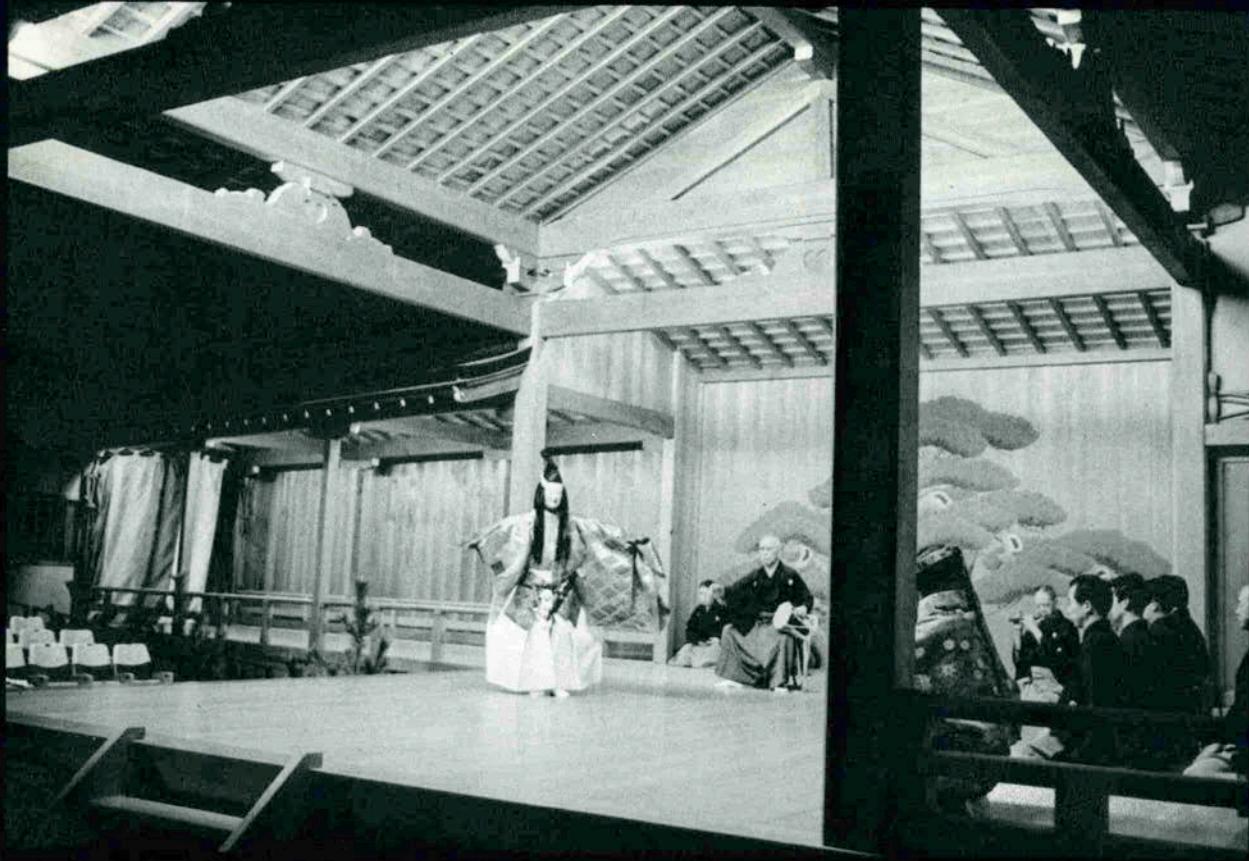
## 湊川神社 能楽殿

藤井久雄  
（能楽師）

湊川神社鎮座百年祭を機に建設されたこの舞台は、県市および奉賛会、鹿島守之助氏、能楽関係者並びに全国的な愛好者のご支援により完成したもので、設計者の言葉によると、

「簡素ではあるが、演ぜられる能および能舞台を中心として引立てるよう、形、色彩とも抑え、清浄さと重厚さ、中空に張り出した廻り廊による緊張感とリズム感を表現した」とある。特に舞台は観世流宗家の由緒深い本舞台をそのままいただいたもので、入母屋作り檜皮葺の屋根の優雅さ、舞台の框釘隠しの金具や棟玉板の浮彫りには観世家の家紋「矢車」が使用され、贅沢だといわれる程の白州の広さ、またロビーには棟方志功画伯の超大作「御鷹巣図」が威風ありを払い、質実剛健の中に豪華さが溢れ、まことに神戸の新名所、

他都市垂涎の舞台である。





## 花隈

小林芳夫  
（株）ミドリ十字取締役社長

### 神戸百景

75

花隈の通りの坂や大筋は戦前とあまり変化はないようだが、家並や建物の構造が変つて、例えば、料亭の和風の格子戸が洋風建物の間におしつめられたり、大きなマンションが建てられたりしている。

「雨の降る夜に花隈を、傘もささすにとほとほと、こんなに待たす気はないが、出るに出られぬ座敷ゆえ」なんて小唄の「ともても帰る」の替え唄を、口ずさむような情景を、思い出させた花隈ではなくなつたようだ。



## 長田神社

君本昌久  
(詩人)

長田は古くから長田神社を中心に行なった。祭神の地は、もと天神山に創祀されたと伝えているが、降つて幕末の頃の面影を刻む、境内の「長竜石」の事も、「鶴のお宮」にふさわしく、親しみをおぼえる。しかし毎年二月節分の日に行なわれる追儺式でよく知られている。一番太郎・赤鬼・青鬼・呆助・姥鬼・餅割鬼・尻くじり鬼の順に、七匹の鬼が須磨の海で禊し、やがて、かがり火と宝剣をもつて踊る古式神事は圧觀である。それから春がやつてくる。

## 神戸百景

## 九重坂

赤尾兜子  
(俳人)



## 神戸百景

77

ある坂とは、  
歩いてゆく  
ものなのだ  
う。

私の家からごく近い散歩コースのひとつである。阪急御影駅のすぐ北にある深田池のはとりを西へまがると、左手に小原流芸術参考館の門がみえる。開館シーズンには、ここに入って中南米の土俗的なコレクションや仏像などと対面して、頭脳を洗い、そしてこの坂をのぼってゆく。右手は、荒らされていない松林が美しくつづき、幽遠の気がただよってこのましい。さて九つの道がまがっているかどうかたしかめたことはないけれど、いまもある程度は曲がっている。鴨子カ原へ巡回するバス道路でないころは、まったくしすかでよかつた。雪が降ると、車はいまも動かない。風致の



# 神戸百景

78

## 六甲山 人工スキー場

野田忠二郎  
（阪神電気鉄道株取締役社長）

人工雪といつても、スノーガンで噴射した水を0℃以下の空気に触れさせると、信州なみのキメの細かな良質の粉雪が得られる。

雪の降ることも珍しい神戸で、手近にスキーが楽しめるとあって、シーズン中は12万の若者や家族づれでゲレンデはにぎわう。

压巻は夜のスキーである。黒くしづんだ神戸の街のきらめきを真下に、冬の六甲もいいものである。

幼稚園の園児たちが、先生につれられて、雪合戦や雪遊びにたわむれる光景もときに見られる町のスキー場である。



*Mademoiselle  
de  
Kobe*

やっぱり神戸が大好きです

三村尊代さん

〈神戸女学院大学在学中〉

ICYE交換留学生として去年の八月までアメリカ暮らし、でも「やっぱり神戸の街が大好き」と語る三村さんは、素直でやさしいお嬢さん。英会話はもちろん得意ですが、この春からは織り物を始めたいそうです。日本舞踊をやっていたので着物もとてもよく似合う神戸らしいお嬢さんです。

— Bonheur —  
ボンスール写真室

児島 寛二

神戸市生田区下山手通2丁目1-2  
TEL 331-3668・7034 生田神社前

## あきらモード <1月>

beauty salon

blue akira

西野 明

神戸市生田区北野町3丁目65/3  
9:00am~6:00pm ☎221-9080

rose

akira

西野笑子

神戸市生田区三宮町 2 丁目 35  
10:00am~6:00pm ☎331-4461



### 新しい春

西野 明 <ヘアーデザイナー>

なにげないショートヘアだからこそ、カットのよしあしが決め手。個性を生かしたショートスタイルはかえって難しいもの。前髪をハネで明るい感じに——。

モデル／富田純子さん <甲南大学英文科1回生>

あきら  
の  
新企画

●ローズあきら（三宮本店）では毎週水曜日、木曜日の二日間ヤングを対象に腕をみがいた若い男性スタッフ三人が担当いたします。（この日西野笑子はブルーあきら担当）。料金も気軽にいなしております。ぜひお立寄りください。9:00am~6:00pm。

●水・木曜日の新料金

シャンプー800~1,000円、セット1,200~1,500円  
カット1,500~2,000円、コールド（ワンコース）4,000~5,000円  
ヘアダイ4,500~5,000円、マニキュア1,200円

# 京友禅

きらびやかに、繊細に染めあげられる友禅。何百年もの伝統に支えられ、完成された美しさを。

●柄は、御所解・のしめなど。



# 江戸小紋

小気味よい、すつきりした味わいの江戸小紋。染め色によつて、年代を問わず着られる魅力を。

●柄は、鮫・七宝・さや型など。



- \*大丸オリジナルで白生地からの別染めです。
- 京友禅きもの（現反）.....58,000円から
- 江戸小紋きもの（現反）.....48,000円から

4階●特選きものサロン



DAIMARU  
もとまち  
TEL 078-331-9121 (n)



艶やかな新春の集いに

東西を代表する染めの粹